

株式会社 T&Dホールディングス

2011年3月期第1四半期
決算のご説明

・表紙

(余白)

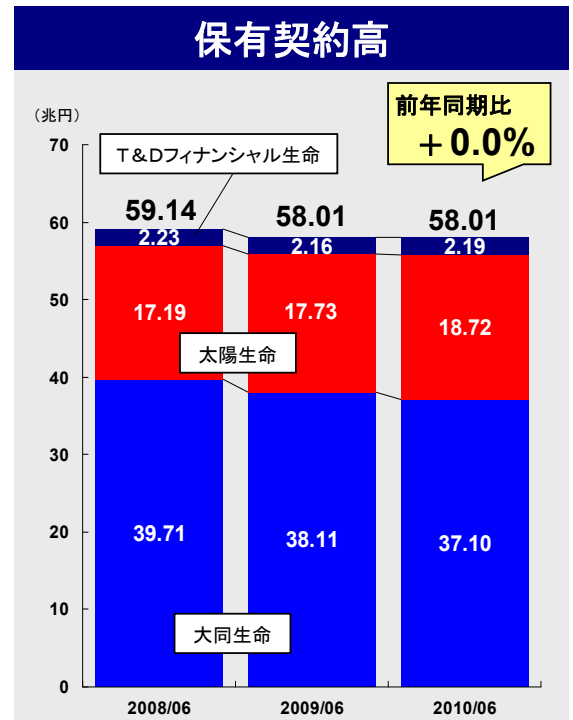
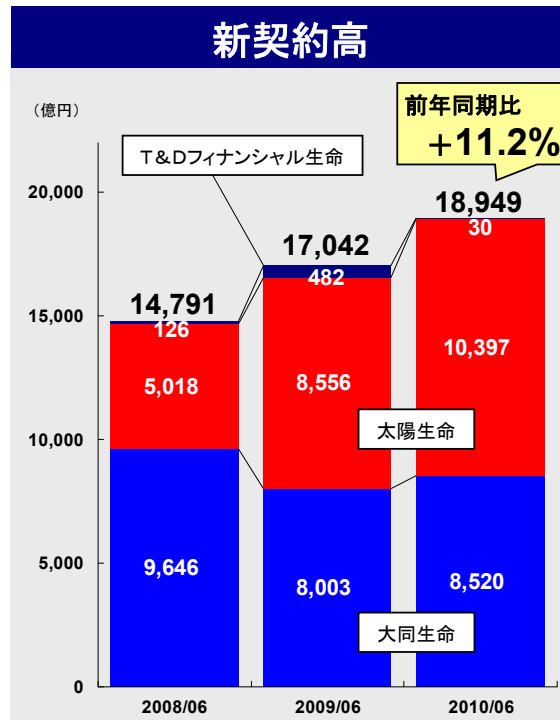
T&Dホールディングス 業績のポイント



- 生保3社合計の新契約高は前年同期を上回り、解約失効高は減少。保有契約高は前期末から微増
- 経常利益、四半期純利益は前年同期に比べ増加

- ・T&Dホールディングスの2011年3月期第1四半期の業績のポイントを2点挙げます。
- ・1点目に、生保3社合計の新契約高は前年同期を上回り、解約失効高は減少しました。保有契約高は前期末から微増となりました。
- ・2点目に、経常利益、四半期純利益は前年同期に比べ増加しました。

契約業績



*個人保険・個人年金保険合計 **新契約高には、転換による純増加を含みます。

株式会社T&Dホールディングス 2011年3月期第1四半期決算のご説明

- ・当四半期の生保3社合計の新契約高は1兆8,949億円となり、前年同期から11.2%増加しました。
- ・保有契約高は58兆193億円となり、前年同期の58兆158億円から横ばい、前期末の57兆7,000億円からは0.6%の微増となりました。
- ・次ページ以降、各社ごとの契約業績の詳細をご説明します。

契約業績: 大同生命

	(億円)		
	2010年 6月期	2009年 6月期	増減率
新契約高*			
個人保険・個人年金合計	8,520	8,003	6.5%
うち個人定期保険	8,175	7,680	6.4%
減少契約高**			
個人保険・個人年金合計	10,407	13,055	▲ 20.3%
うち個人定期保険	9,814	12,296	▲ 20.2%
うち解約失効高	8,292	10,484	▲ 20.9%
解約失効率(年換算)***	8.89%	10.86%	▲ 1.97P
うち個人定期保険	7,965	10,031	▲ 20.6%
保有契約高			
個人保険・個人年金合計	371,026	381,167	▲ 2.7%
うち個人定期保険	336,593	346,440	▲ 2.8%
新契約年換算保険料*	160	169	▲ 5.3%
保有契約年換算保険料	7,418	6,594	12.5%

解約払戻金のある長期の定期保険(Lタイプ)の販売好調による

解約払戻金のある長期の定期保険(Lタイプ)を中心に解約が減少

前期末より▲1,886億円

前期末より▲1,638億円

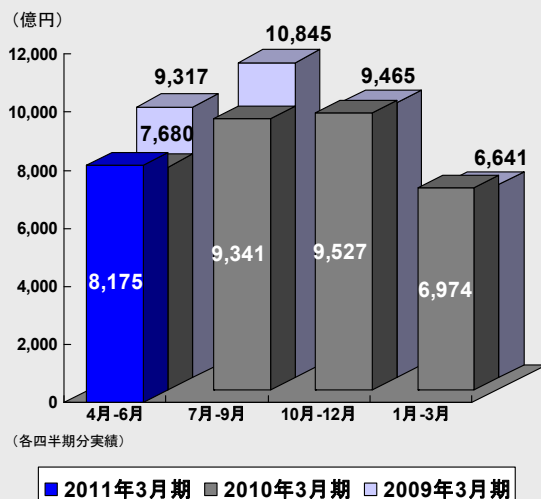
一時払個人年金の減少による。主力の個人定期保険は増加

* 新契約には、転換による純増加を含みます。
 ** 減少契約高 = 新契約高 - 各前年度末からの保有契約高の増加分
 *** 解約失効率(年換算) = 解約失効高 / 年度始保有契約高 × 4

- ・大同生命の新契約高は8,520億円となりました。主に、解約払戻金のある長期の定期保険(Lタイプ)の販売が好調だったことにより、前年同期から6.5%増加しました。前年下期からの回復基調は継続しています。
- ・解約失効高は8,292億円となり、前年同期から20.9%減少しました。解約失効率は年換算で8.89%となり、前年同期から1.97ポイント改善しました。新契約高同様に前年下期からの改善傾向が継続しています。
- ・保有契約高は37兆1,026億円となり、前期末の37兆2,913億円から1,886億円減少しました。
- ・新契約年換算保険料は、無配当一時払個人年金の販売の減少により、前年同期から5.3%減少し、160億円となりましたが、主力の定期保険では増加しています。

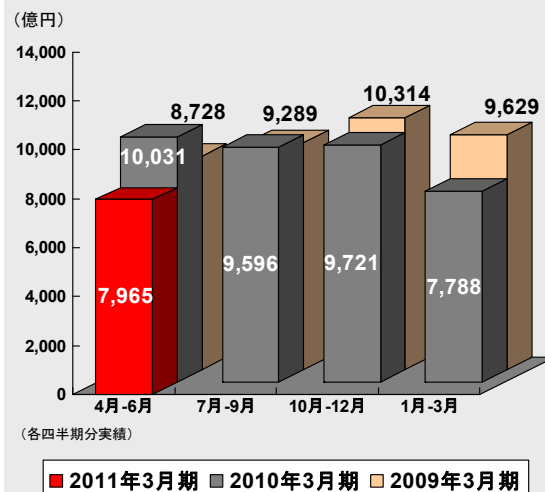
四半期別業績推移:大同生命 (個人定期保険)

新契約高*の推移



* 新契約高には、転換による純増加を含みます。

解約失効高の推移



・主力の個人定期保険について、四半期別の新契約高および解約失効高の推移をグラフに表しています。前年度第3四半期以降は、四半期ごとに見ると、新契約高は増加、解約失効高は減少に転じるなど、契約業績は回復基調にあります。

契約業績: 太陽生命

(億円)

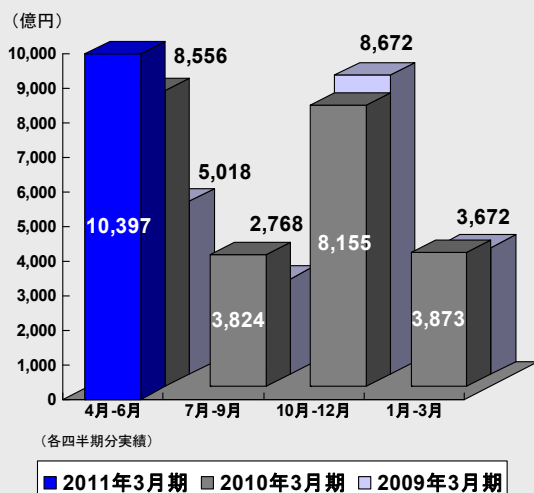
	2010年 6月期	2009年 6月期	増減率	
新契約高*				「組曲Best」の販売好調による
個人保険・個人年金合計	10,397	8,556	21.5%	
うち転換による純増加	4,324	4,282	1.0%	
減少契約高**				
個人保険・個人年金合計	4,366	4,736	▲ 7.8%	
うち解約失効高	2,804	2,972	▲ 5.7%	引き続き継続率を高める施策に注力したことによる
解約失効率(年換算)***	6.19%	6.85%	▲ 0.66P	
保有契約高				前期末より+6,031億円
個人保険・個人年金合計	187,221	177,371	5.6%	
新契約年換算保険料*				2009年6月期は一時的な要因で見直し件数が増加したことと「既成緩和」の件数が減少したことによる
うち第三分野	114	102	11.2%	
	22	29	▲ 23.5%	
保有契約年換算保険料				過去に販売した貯蓄性保険(旧けんこう)の満期が続いているため
うち第三分野	6,008	6,088	▲ 1.3%	
	1,099	1,107	▲ 0.8%	

* 新契約高には、転換による純増加を含みます。
 ** 減少契約高 = 新契約高 - 各前年度末からの保有契約高の増加分
 *** 解約失効率(年換算) = 解約失効高 / 年度始保有契約高 × 4

- ・太陽生命の新契約高は、「保険組曲Best」の販売が引き続き好調に推移したことにより、前年同期から21.5%増加し、1兆397億円となりました。また、転換による純増加は4,324億円となりました。
- ・解約失効高は、2,804億円となり、前年同期から5.7%減少しました。解約失効率についても0.66ポイント改善し、6.19%となりました。
- ・その結果、保有契約高は、前年同期の17兆7,371億円から9,850億円増加し18兆7,221億円と引き続き過去最高を更新しています。

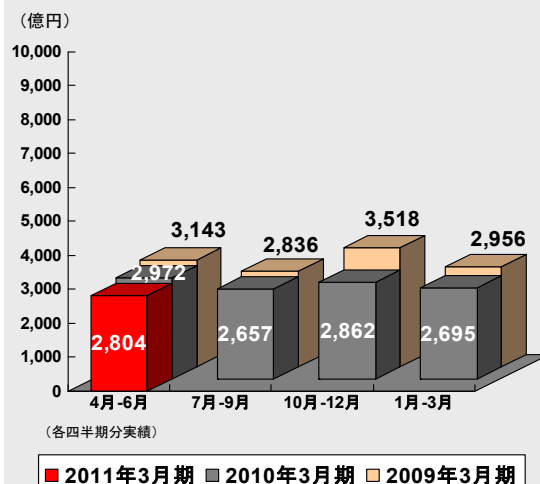
四半期別業績推移: 太陽生命 (個人保険・個人年金保険)

新契約高* の推移



* 新契約高には、転換による純増加を含みます。

解約失効高の推移



・太陽生命の四半期別の新契約高および解約失効高の推移については、グラフのとおりです。

契約業績：T&Dフィナンシャル生命



(億円)

	2010年 6月期	2009年 6月期	増減率	
新契約高				
個人保険・個人年金合計	30	482	▲ 93.6%	定額年金・終身保険の販売低迷による
減少契約高*				
個人保険・個人年金合計	982	62	1,463.3%	
うち解約失効高	274	286	▲ 4.1%	
解約失効率(年換算)***	4.80%	5.41%	▲ 0.61P	
保有契約高				
個人保険・個人年金合計	21,944	21,619	1.5%	前期末より▲587億円
うち金融機関窓販商品	9,560	7,616	25.5%	
うち変額個人年金	9,526	7,616	25.1%	相場変動に伴う特別勘定の積立金の低下により、前期末保有契約高1兆135億円から減少。
新契約年換算保険料	3	93	▲ 96.8%	
保有契約年換算保険料	1,811	1,427	26.9%	

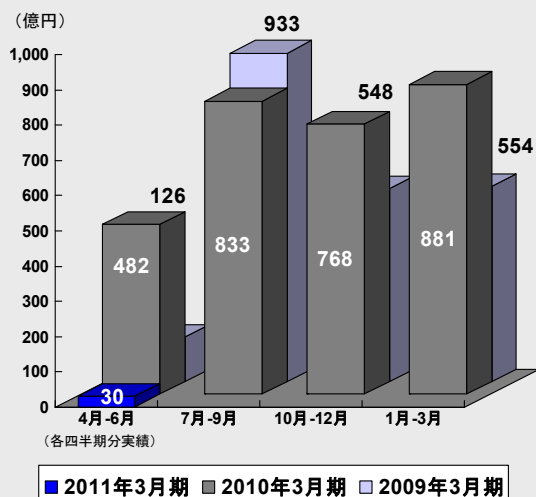
* 減少契約高 = 新契約高 - 各前年度末からの保有契約高の増加分
 ** 解約失効率(年換算) = 解約失効高 / 年度始保有契約高 × 4

- ・T&Dフィナンシャル生命の新契約高は、30億円となりました。これは、前期に販売開始したハッピーベル(定額年金)と4月に販売開始した生涯プレミアム(終身保険)の販売が低調に推移したことによりです。
- ・ハッピーベルに関しては国内金利の低迷による販売休止期間の影響、そして生涯プレミアムについては、金融機関代理店への導入が遅れていることなどが主な理由です。
- ・代理店への導入に関しては、徐々に採用代理店の数が増えていますが、導入決定後の販売担当者に対する商品コンセプトの定着に時間を要することもあり、本格稼働は下期以降となる見込みです。
- ・保有契約高は、2兆1,944億円となり、前年同期の2兆1,619億円から324億円増加しました。金融機関窓販商品の保有契約高は、9,560億円となり、前年同期の7,616億円から、1,944億円増加しましたが、前期末の1兆148億円からは、587億円減少しました。これは主に、相場変動に伴う変額年金の特別勘定の積立金の低下や、定額年金・終身保険の新契約高の低迷によりです。

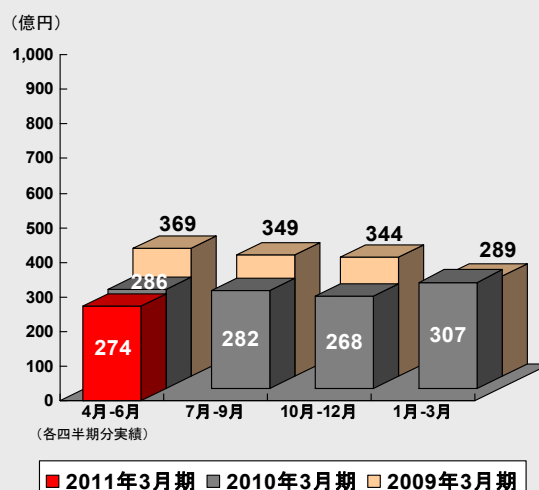
四半期別業績推移:T&Dフィナンシャル生命 (個人保険・個人年金保険)



新契約高*の推移



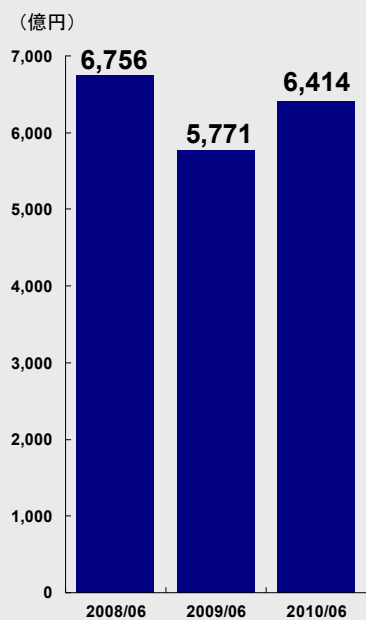
解約失効高の推移



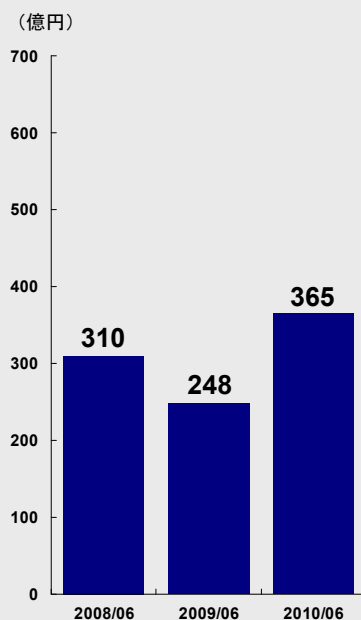
・T&Dフィナンシャル生命の四半期別の新契約高および解約失効高の推移については、グラフのとおりです。

連結主要収支

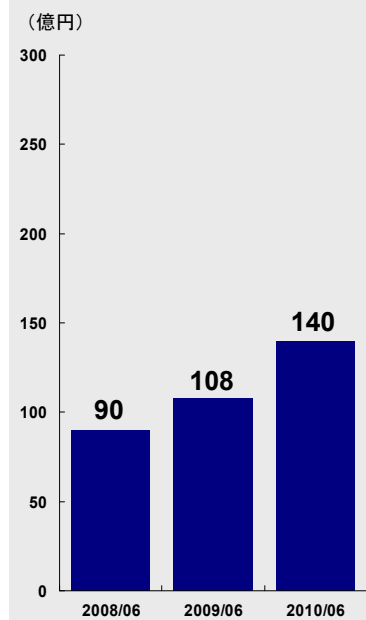
経常収益



経常利益



四半期純利益



- ・連結主要収支はグラフのとおりです。
- ・次ページにて主要収支の詳細をご説明します。

連結損益計算書(要約)

	(億円)		
	2010年 6月期	2009年 6月期	増減額
経常収益	6,414	5,771	▲ 642
保険料等収入	3,840	4,299	▲ 458
資産運用収益	1,021	1,236	▲ 215
うち利息及び配当金等収入	550	509	▲ 40
うち金銭の信託運用益	196	-	▲ 196
うち有価証券売却益	95	203	▲ 108
うち金融派生商品収益	169	-	▲ 169
うち特別勘定資産運用益	-	495	▲ 495
その他経常収益	1,552	235	▲ 1,316
うち責任準備金戻入額	1,294	48	▲ 1,246
経常費用	6,048	5,522	525
保険金等支払金	4,651	4,363	▲ 288
責任準備金等繰入額	1	4	▲ 3
資産運用費用	696	415	▲ 280
うち金銭の信託運用損	-	152	▲ 152
うち有価証券売却損	53	50	▲ 3
うち有価証券評価損	21	19	▲ 2
うち金融派生商品費用	-	130	▲ 130
うちその他運用費用	31	35	▲ 3
うち特別勘定資産運用損	513	-	▲ 513
事業費	513	518	▲ 5
その他経常費用	185	220	▲ 34
経常利益	365	248	▲ 117
特別損益	▲ 69	▲ 32	▲ 36
契約者配当準備金繰入額	66	47	▲ 18
税金等調整前四半期純利益	230	167	▲ 62
法人税等合計	89	59	▲ 30
四半期純利益	140	108	▲ 32

・大同生命: ▲135億円
・太陽生命: +146億円
・T&Dフィナンシャル生命: ▲470億円

・大同生命: +23億円(主にプライベート・エクイティの分配金の増加による)
・太陽生命: +15億円(主に外国債券の積み増しや株式配当金収入の増加等による)

・大同生命: 3億円(前年同期比▲22億円)
・太陽生命: 91億円(前年同期比▲85億円)

・大同生命: 143億円(前年同期比+205億円)
・太陽生命: 25億円(前年同期比+94億円)

・大同生命: +275億円(主に団体年金)
・太陽生命: ▲36億円(主に個保・個人年金)

・大同生命: 1億円(前年同期比▲3億円)
・太陽生命: 52億円(前年同期比+6億円)

・大同生命: 19億円(前年同期比+4億円)
・太陽生命: 1億円(前年同期比▲1億円)

価格変動準備金繰入額54億円
・大同生命: 24億円(前年同期比+19億円)、うち超過繰入19億円
・太陽生命: 30億円(前年同期比▲0億円)、うち超過繰入25億円

・大同生命: ▲135億円
・太陽生命: +146億円
・T&Dフィナンシャル生命: ▲470億円

・大同生命: +23億円(主にプライベート・エクイティの分配金の増加による)
・太陽生命: +15億円(主に外国債券の積み増しや株式配当金収入の増加等による)

・大同生命: 3億円(前年同期比▲22億円)
・太陽生命: 91億円(前年同期比▲85億円)

・大同生命: 143億円(前年同期比+205億円)
・太陽生命: 25億円(前年同期比+94億円)

・大同生命: +275億円(主に団体年金)
・太陽生命: ▲36億円(主に個保・個人年金)

・大同生命: 1億円(前年同期比▲3億円)
・太陽生命: 52億円(前年同期比+6億円)

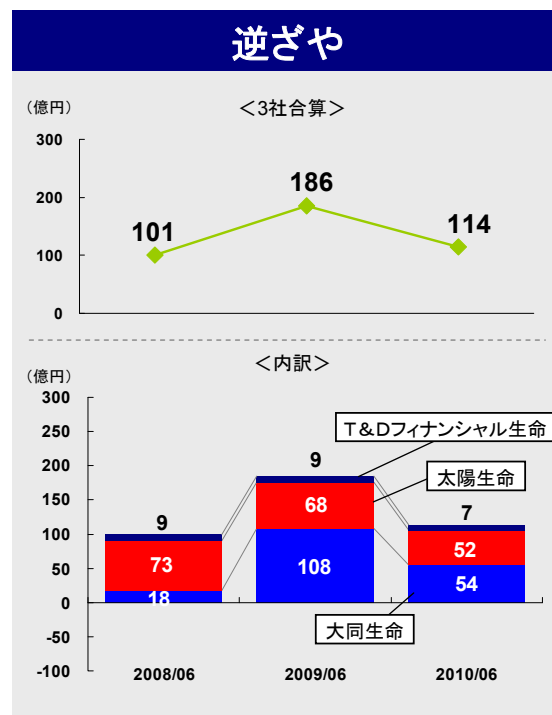
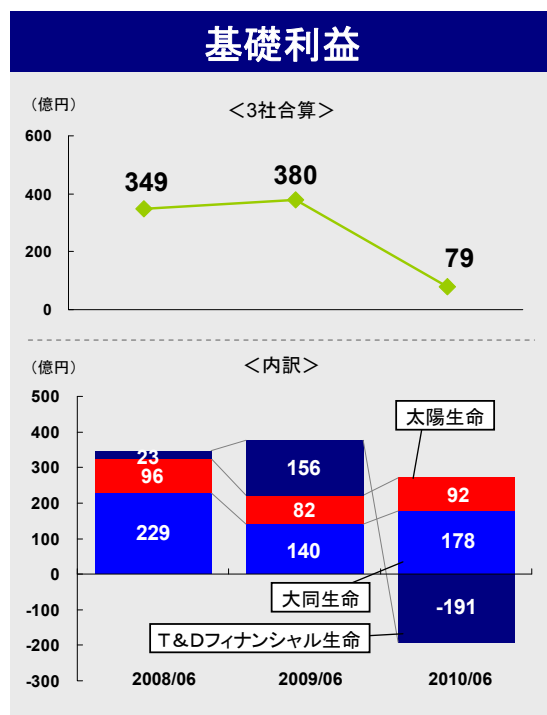
・大同生命: 19億円(前年同期比+4億円)
・太陽生命: 1億円(前年同期比▲1億円)

価格変動準備金繰入額54億円
・大同生命: 24億円(前年同期比+19億円)、うち超過繰入19億円
・太陽生命: 30億円(前年同期比▲0億円)、うち超過繰入25億円

株式会社T&Dホールディングス 2011年3月期第1四半期決算のご説明

- ・連結損益計算書はご覧のとおりです。ここでは、経常利益と四半期純利益についてご説明いたします。
- ・まず、経常利益は365億円となり、前年同期より117億円増加しました。これは主に、金融派生商品収益が増加したこと等によります。
- ・四半期純利益は140億円となり、前年同期より32億円増加しました。
- ・なお、特別損益のうち価格変動準備金繰入額は54億円であり、法定基準以上の繰入を太陽生命で25億円、大同生命で19億円実施しています。

基礎利益・逆ざや



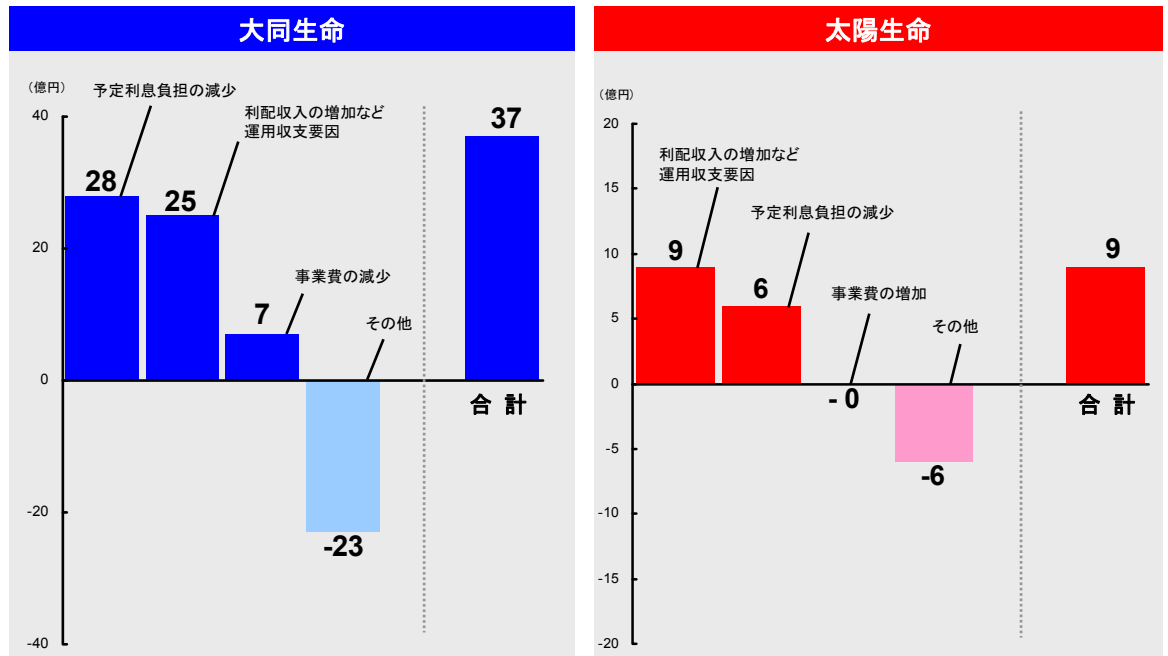
株式会社T&Dホールディングス 2011年3月期第1四半期決算のご説明

・3社合算の基礎利益は79億円となり、前年同期と比べて300億円減少しました。基礎利益が減少した主な要因は、大同生命・太陽生命において、利息及び配当金等収入が増加した一方で、T&Dフィナンシャル生命において、基礎収支に計上される最低保証リスクに係る責任準備金繰入額が211億円と前年同期の戻入148億円から繰入に転じたことによります。なお、T&Dフィナンシャル生命では、最低保証リスクに対するオプションによるヘッジ益196億円が別途、金銭の信託運用益として計上されています。

・また、3社合算の逆ざや額は114億円となりました。

基礎利益の増減要因

2010年6月期の基礎利益の増減要因(2009年6月期比)



株式会社T&Dホールディングス 2011年3月期第1四半期決算のご説明

・大同生命、太陽生命の基礎利益の、前年同期からの増減要因はご覧のとおりです。

連結貸借対照表(要約)

・大同生命: 531億円(前期末比+12億円)
 ・太陽生命: 774億円(前期末比+1億円)
 ・T&Dフィナンシャル生命: 287億円(前期末比+18億円)

太陽生命: 140億円

(億円)				(億円)			
	2010年 6月期	2010年 3月期	増減額		2010年 6月期	2010年 3月期	増減額
資産の部				負債の部			
現預金・コール	4,211	5,738	▲ 1,527	保険契約準備金	116,575	117,984	▲ 1,409
買入金銭債権	4,333	3,502	831	責任準備金	114,583	115,878	▲ 1,294
金銭の信託	921	710	211	危険準備金	1,592	1,559	33
有価証券	88,799	90,289	▲ 1,490	社債	140	140	-
貸付金	21,368	21,755	▲ 386	その他負債	1,532	2,026	▲ 493
有形固定資産	3,049	3,057	▲ 8	借入金	667	659	7
無形固定資産	220	222	▲ 2	価格変動準備金	737	683	54
その他資産	1,854	1,841	13	負債合計	120,550	122,482	▲ 1,932
繰延税金資産	1,688	1,631	57	純資産の部			
貸倒引当金	▲ 107	▲ 105	▲ 2	株主資本	5,523	5,536	▲ 12
資産合計	126,468	128,787	▲ 2,319	資本金	2,071	2,071	-
				資本剰余金	1,946	1,946	-
				利益剰余金	1,515	1,528	▲ 12
				評価・換算差額等	375	749	▲ 374
				その他有価証券評価差額金	795	1,169	▲ 373
				土地再評価差額金	▲ 420	▲ 420	-
				純資産合計	5,917	6,304	▲ 386
				負債純資産合計	126,468	128,787	▲ 2,319

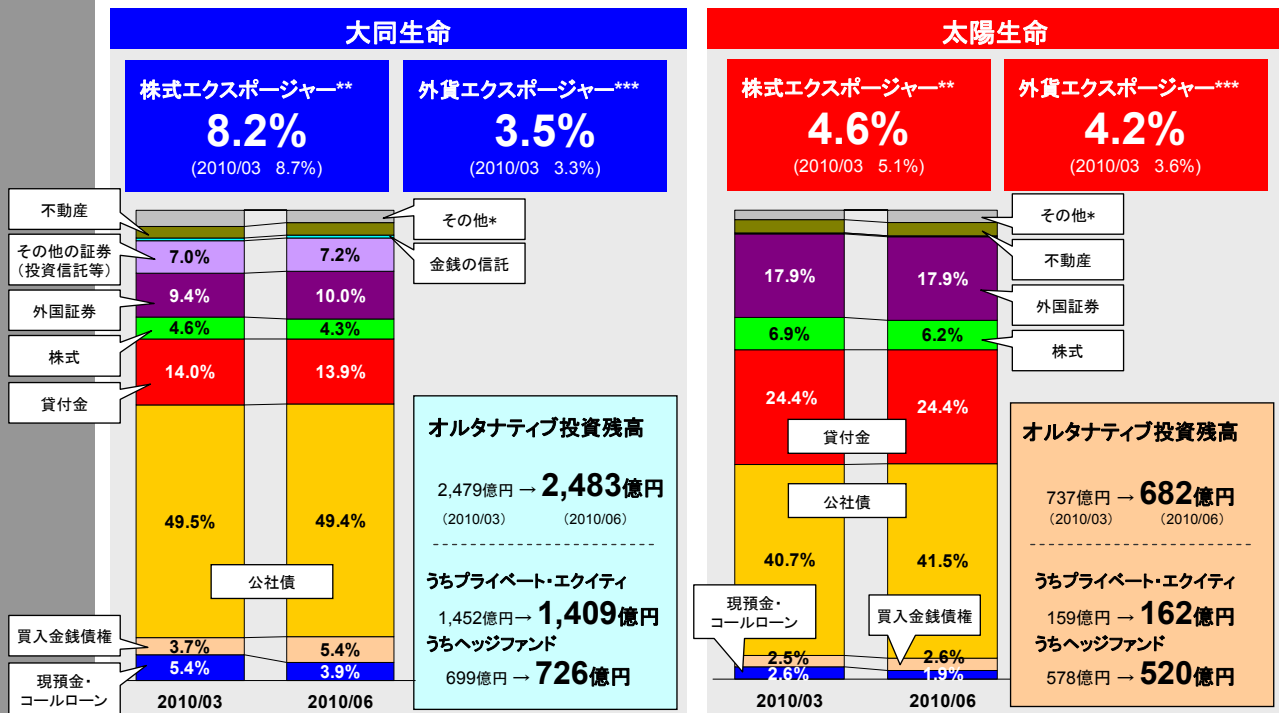
太陽生命: 360億円(前期末比増減なし)

・大同生命: 463億円(前期末比+24億円)
 ・太陽生命: 270億円(前期末比+30億円)

株式会社T&Dホールディングス 2011年3月期第1四半期決算のご説明

・要約連結貸借対照表はご覧のとおりです。

一般勘定資産構成比



*その他資産: 繰延税金資産など **株式先物、投信、金銭の信託内の株式等を含めた実質的な株式エクスポージャー ***為替ヘッジ等を含めた実質的な外貨エクスポージャー
 ****エクスポージャー比率の計算は各社の採用する方法によります

- ・各社の一般勘定の資産構成比はご覧のとおりです。
- ・実質的な株式のエクスポージャーは、主に時価の下落により、大同生命が8.2%、太陽生命が4.6%となり、前期末からいずれも0.5ポイント低下しました。実質的な外貨エクスポージャーは、大同生命が3.5%、太陽生命が4.2%となりました。
- ・2010年6月末のオルタナティブ投資資産残高は、大同生命が2,483億円、太陽生命が682億円となりました。

資産運用：第1四半期投資行動レビュー

	大同生命	太陽生命
国内債券	TB(国庫短期証券)からCP(短期社債)への資金シフトに伴い減少	金利動向に応じて銘柄入替え等を実施
外国債券	期初の金利上昇局面での購入など、金利動向に応じた売買を実施	期初において欧州債から米国債等に入替えるなど、金利動向、為替動向に応じた対応を実施
国内株式	抑制スタンスの中で、相場動向に応じて売買を実施	抑制スタンスの中で、相場動向に応じて売買を実施
外国株式		
オルタナティブ投資	ヘッジファンド、プライベート・エクイティは慎重な取り組み姿勢を継続、残高は横ばい	ヘッジファンド、プライベート・エクイティともに新規投資を見送り。また一部解約を実施

・大同生命、太陽生命の第1四半期の投資行動についてそれぞれご説明します。

・大同生命では、資産構成比を前年度末から大きく変更しておりません。

国内債券の残高が減少しておりますが、これは、TB(国庫短期証券)からCP(短期社債)への資金シフトによります。外国債券は期初の金利上昇局面での購入など、金利動向に応じた売買を実施しました。国内株式、外国株式については、抑制スタンスの中で、相場動向に応じて売買を実施しました。オルタナティブ投資については、ヘッジファンド、プライベート・エクイティともにファンドを厳選し慎重に取り組みました。

・太陽生命では、金利動向に応じて、国内債券の銘柄入替えを実施しました。外国債券についても、金利動向、為替動向に応じて、期初に欧州債から米国債等に入替えを実施しました。国内株式、外国株式については、抑制スタンスの中で、相場動向に応じて売買を実施しました。オルタナティブ投資については、ヘッジファンド、プライベート・エクイティともに新規の投資を見送り、また一部解約を実施しました。

資産運用：今後の運用方針

	大同生命	太陽生命
国内債券	現状の構成比を大きく変更しない 金利上昇局面ではデュレーションを長期化	現状の構成比を大きく変更しない 金利動向に応じて銘柄入替え等を実施
外国債券	現状の構成比を大きく変更しない ただし、相場動向により対応	現状の構成比を大きく変更しない 景気・金利・為替等の動向に応じて機動的に対応
国内株式		リスク抑制的なスタンスを継続 (現状の構成比を大きく変更しない)
外国株式		
オルタナティブ投資	<ul style="list-style-type: none"> ・ヘッジファンドは横ばい ・プライベート・エクイティは、ファンドを厳選し新規コミットメントは慎重に対応 	

・大同生命、太陽生命の今後の運用方針について、それぞれご説明します。

・大同生命では、国内債券の構成比は現状の構成比を大きく変更しません。デュレーションについては、金利上昇局面では長期化する予定です。

外国債券、国内株式、外国株式についても、現状の構成比を大きく変更しません。

オルタナティブ投資については、ヘッジファンドは横ばい、プライベート・エクイティは、ファンドを厳選し慎重に取り組む予定です。

・太陽生命では、リスク抑制的なスタンスを維持し、各資産とも現状の構成比から大きく変更しない方針です。国内債券については、金利動向に応じて銘柄入替えを実施し、外国債券については、景気、金利、為替等の動向に応じて、機動的に対応します。

・なお、現状グループ内で将来的な経済価値ベースでのALMIについての議論を行っておりますが、今後その進捗状況を必要に応じて報告していきたいと考えています。

一般勘定資産の差損益

(時価のあるものを対象)

(億円)

	大同生命		太陽生命		T&Dフィナンシャル生命		生保3社合算		増減額
	2010年 6月期	2010年 3月期	2010年 6月期	2010年 3月期	2010年 6月期	2010年 3月期	2010年 6月期	2010年 3月期	
合計	718	1,011	1,880	1,247	89	30	2,688	2,289	399
公社債	712	379	1,235	394	88	29	2,037	803	1,233
株式	359	560	406	928	-	-	766	1,488	▲ 722
外国証券	▲ 53	▲ 23	186	▲ 91	-	-	132	▲ 114	246
公社債	▲ 13	30	244	▲ 40	-	-	231	▲ 10	241
株式等	▲ 39	▲ 53	▲ 58	▲ 50	-	-	▲ 98	▲ 104	5
その他の証券	▲ 347	90	2	3	0	1	▲ 344	94	▲ 438
買入金銭債権	49	1	49	12	-	-	98	14	84
金銭の信託	▲ 1	2	-	-	-	-	▲ 1	2	▲ 4
土地等の差損益*	201	202	85	85	-	-	287	288	▲ 0

*土地等の差損益は、原則として鑑定評価額、重要性の低い物件等については公示価格等をもとに算出しています

・3社合算の有価証券の差損益は株式相場の下落等により株式の差損益は減少した一方、金利の低下等により公社債の差損益が増加したため、前期末から399億円の増加となる2,688億円となりました。

健全性指標・EEV上の修正純資産

(億円)

	2010年 6月期	2010年 3月期	増減
大同生命			
ソルベンシー・マージン比率	1,101.6%	1,120.6%	▲ 19.0P
実質純資産	5,767	6,104	▲ 337
EEV上の修正純資産	4,038	4,195	▲ 156
太陽生命			
ソルベンシー・マージン比率	1,012.6%	1,023.8%	▲ 11.2P
実質純資産	4,961	4,337	623
EEV上の修正純資産	3,992	3,554	437
T&Dフィナンシャル生命			
ソルベンシー・マージン比率	632.2%	643.4%	▲ 11.2P
実質純資産	947	905	42
EEV上の修正純資産	629	596	32
生保3社合計			
実質純資産	11,676	11,347	328
EEV上の修正純資産	8,660	8,346	313

株価下落等に伴う評価差損益の減少により各数値とも減少

資産運用リスク相当額が増加したため

国内公社債の差損益が増加したため

- ・ソルベンシー・マージン比率、実質純資産、EEV上の修正純資産は表のとおりです。
- ・21ページ、22ページで、連結及び各社ごとの業績予想をお示ししています。

2011年3月期 業績予想

■ 2010年5月19日開示の予想数値から変更なし

通期業績予想(T&Dホールディングス連結)

(億円)

	2011年3月期 通期予想	2011年3月期 第1四半期	進捗率	2010年3月期 (参考)
経常収益	20,300	6,414	31.6%	23,489
経常利益	1,030	365	35.5%	805
当期純利益	330	140	42.6%	242

通期見通し(生保3社単体合算)

(億円)

	2011年3月期 通期予想	2011年3月期 第1四半期	進捗率	2010年3月期 (参考)
新契約高*	64,700	18,949	29.3%	63,299
保有契約高*	573,400	580,193	** -	577,000
保険料等収入	17,600	3,839	21.8%	18,980
基礎利益	1,250	79	6.3%	1,310
逆ざや	380	114		577

* 個人保険、個人年金保険合計。新契約高には、転換による純増加を含みます。
** 年度始より3,193億円の減少。

株式会社T&Dホールディングス 2011年3月期第1四半期決算のご説明

・2011年3月期の業績の見通しは表のとおりです。

・今後、市場動向によってはキャピタル損益に大きな変動が発生する可能性もあることから、現時点で業績予想の変更はいたしません。

(参考)2011年3月期 通期業績予想:生保3社



(億円)

	大同生命			太陽生命			T&Dフィナンシャル生命			
	2011年 3月期	2010年 6月期	2010年 3月期	2011年 3月期	2010年 6月期	2010年 3月期	2011年 3月期	2010年 6月期	2010年 3月期	
通期業績予想	経常収益	10,400	2,827	11,781	8,600	2,819	9,246	3,300	700	4,260
	保険料等収入	7,300	1,726	8,609	7,200	2,039	7,136	3,100	73	3,234
	経常利益	530	238	491	490	152	448	▲ 30	▲ 30	▲ 142
	基礎利益	590	178	586	550	92	509	110	▲ 191	214
	当期純利益	180	95	202	150	65	145	▲ 20	▲ 21	▲ 103
通期見直し	新契約高	36,000	8,520	35,922	25,400	10,397	24,410	3,300	30	2,966
	保有契約高	359,700	371,026	372,913	190,000	187,221	181,190	23,700	21,944	22,895
	保有契約年換算保険料	6,200	7,418	7,492	6,000	6,008	6,018	2,000	1,811	1,831
	逆ざや額	280	54	416	70	52	126	30	7	34
	解約失効率	10.30%	8.89%	10.04%	6.90%	6.19%	6.45%	4.70%	4.80%	5.40%

* 契約高は個人保険・個人年金保険。新契約高には、転換による純増加を含みます。

・生保3社の通期業績予想については、表のとおりです。

参考資料

✓ 損益計算書(要約)	24
✓ 貸借対照表(要約)	27
✓ 一般勘定資産構成比	30
✓ 外国証券・その他の証券の内訳	32
✓ 外国証券(公社債)の内訳	33
✓ 有価証券評価損の内訳	34
✓ 一般勘定資産の差損益	35
✓ 基礎利益・逆ざや・平均予定利率	37
✓ 配当区分別構成比	39
✓ 健全性指標明細	41
✓ 主要業績の推移	44

・参考

損益計算書(要約):大同生命単体

	(億円)		
	2010年 6月期	2009年 6月期	増減額
経常収益	2,827	2,438	388
保険料等収入	1,726	1,861	▲ 135
うち個人定期保険	1,236	1,279	▲ 42
資産運用収益	393	298	95
うち利息及び配当金等収入	236	213	23
うち売買目的有価証券運用益	-	21	▲ 21
うち有価証券売却益	3	26	▲ 22
うち金融派生商品収益	143	-	143
その他経常収益	708	279	428
うち責任準備金戻入額	611	251	359
経常費用	2,589	2,332	257
保険金等支払金	2,159	1,883	275
責任準備金等繰入額	1	6	▲ 5
資産運用費用	137	120	16
うち売買目的有価証券運用損	47	-	47
うち有価証券売却損	1	4	▲ 3
うち有価証券評価損	19	15	4
うち金融派生商品費用	-	61	▲ 61
うち貸倒引当金繰入額	2	-	2
うちその他運用費用	25	28	▲ 3
事業費	262	269	▲ 7
その他経常費用	28	51	▲ 22
経常利益	238	106	131
特別損益	▲ 33	▲ 5	▲ 28
契約者配当準備金繰入額	29	31	▲ 1
税引前四半期純利益	174	69	105
法人税等合計	79	20	58
四半期純利益	95	48	46

主な内訳
・個保・個年: ▲63億円
・団体年金: ▲56億円
・団体保険: ▲11億円

主な内訳
・プライベート・エクイティ分配金: +18億円

主な内訳(前年同期比)
・為替予約: 140億円(+128億円)
・株式先物: 2億円(+76億円)

うち団体年金: +436億円

主な内訳
・団体年金 その他返戻金: +416億円
・団体年金 解約返戻金: +33億円
・団体年金 一時金: ▲76億円

価格変動準備金繰入額: 24億円(前年同期比+19億円)、うち超過繰入19億円

株式会社T&Dホールディングス 2011年3月期第1四半期決算のご説明

・損益計算書(要約):大同生命単体

損益計算書(要約): 太陽生命単体

	(億円)		
	2010年 6月期	2009年 6月期	増減額
経常収益	2,819	2,911	▲ 92
保険料等収入	2,039	1,893	▲ 146
うち個人保険(個人年金含む)	1,403	1,321	▲ 82
資産運用収益	429	477	▲ 47
うち利息及び配当金等収入	311	295	▲ 15
うち有価証券売却益	91	177	▲ 85
うち金融派生商品収益	25	-	▲ 25
その他経常収益	350	541	▲ 190
うち責任準備金戻入額	293	457	▲ 163
経常費用	2,666	2,775	▲ 108
保険金等支払金	2,272	2,308	▲ 36
責任準備金等繰入額	0	0	▲ 0
資産運用費用	74	137	▲ 63
うち有価証券売却損	52	45	▲ 6
うち有価証券評価損	1	3	▲ 1
うち金融派生商品費用	-	68	▲ 68
事業費	208	207	▲ 0
その他経常費用	111	121	▲ 9
経常利益	152	135	▲ 16
特別損益	▲ 35	▲ 27	▲ 8
契約者配当準備金繰入額	36	16	▲ 20
税引前四半期純利益	81	92	▲ 11
法人税等合計	15	34	▲ 18
四半期純利益	65	58	▲ 7

主な内訳

- ・個保・個年: +82億円
- ・団体年金: +64億円

主な内訳

- ・外国債券: +12億円
- ・株式配当金: +7億円

主な内訳(前年同期比)

- ・国内株式: 51億円(▲15億円)
- ・外国証券: 40億円(▲19億円)

うち個保・個年: ▲209億円

主な内訳(前期比)

- ・為替関連: 14億円(+38億円)
- ・株式関連: 11億円(+56億円)

主な内訳(前年同期比)

- ・外国証券: 48億円(+28億円)
- ・国内債券: 2億円(▲17億円)
- ・国内株式: 1億円(▲4億円)

価格変動準備金繰入額: 30億円(前年同期比▲0億円)、うち超過繰入25億円

株式会社T&Dホールディングス 2011年3月期第1四半期決算のご説明

・損益計算書(要約): 太陽生命単体

損益計算書(要約): T&Dフィナンシャル生命単体

(億円)

	2010年 6月期	2009年 6月期	増減額
経常収益	700	1,037	▲ 336
保険料等収入	73	544	▲ 470
うち変額年金	8	483	▲ 474
うち定額年金・終身保険	22	-	22
資産運用収益	206	470	▲ 264
うち利息及び配当金等収入	10	9	0
うち金銭の信託運用益	196	-	196
うち特別勘定資産運用益	-	460	▲ 460
その他経常収益	420	22	397
経常費用	730	1,029	▲ 298
保険金等支払金	219	170	48
責任準備金等繰入額	1	663	▲ 661
うち最低保証責任準備金繰入 (▲は戻入)	227	▲ 173	401
資産運用費用	484	153	331
うち金銭の信託運用損	-	152	▲ 152
うち特別勘定資産運用損	483	-	483
事業費	21	35	▲ 13
その他経常費用	3	6	▲ 2
経常利益	▲ 30	8	▲ 38
特別損益	▲ 0	▲ 0	▲ 0
契約者配当準備金繰入額 (▲は契約者配当準備金戻入額)	-	▲ 0	0
税引前四半期純利益	▲ 30	8	▲ 38
法人税等合計	▲ 8	2	▲ 11
四半期純利益	▲ 21	5	▲ 27

当期より年金原資保証型の変額年金を販売休止としたため

最低保証リスクに対するヘッジ益(金銭の信託運用益)は、196億円となった。一方、相場変動による最低保証責任準備金の繰入が227億円であったため、最低保証責任準備金の繰入額とヘッジ損益の差額は31億円の損となった

・損益計算書(要約):T&Dフィナンシャル生命単体

貸借対照表(要約):大同生命単体

	(億円)			(億円)			
	2010年 6月期	2010年 3月期	増減額		2010年 6月期	2010年 3月期	増減額
資産の部				負債の部			
現預金・コール	2,056	2,929	▲ 872	保険契約準備金	48,369	49,083	▲ 714
買入金銭債権	2,844	2,021	822	責任準備金	47,066	47,677	▲ 611
金銭の信託	252	246	6	危険準備金	531	518	12
有価証券	37,927	38,654	▲ 726	価格変動準備金	463	438	24
公社債	26,284	27,002	▲ 718	負債の部合計	50,144	51,288	▲ 1,144
株式	2,405	2,634	▲ 229	純資産の部			
外国証券	5,375	5,175	199	株主資本	2,872	2,857	14
その他の証券	3,862	3,841	21	資本金	1,100	1,100	-
貸付金	7,370	7,616	▲ 245	資本剰余金	350	350	-
有形固定資産	1,392	1,389	3	利益剰余金	1,421	1,406	14
無形固定資産	62	65	▲ 3	評価・換算差額等	260	554	▲ 293
その他資産	466	936	▲ 470	その他有価証券評価差額金	260	552	▲ 292
繰延税金資産	979	911	67	純資産の部合計	3,132	3,411	▲ 278
貸倒引当金	▲ 87	▲ 85	▲ 2	負債及び純資産の部合計	53,277	54,700	▲ 1,423
資産の部合計	53,277	54,700	▲ 1,423				

主な変動要因
 ・公社債:主にTB(国庫短期証券)の減少
 ・株式:時価の下落等により減少

・貸借対照表(要約):大同生命単体

貸借対照表(要約): 太陽生命単体

(億円)			(億円)				
	2010年 6月期	2010年 3月期	増減額		2010年 6月期	2010年 3月期	増減額
資産の部				負債の部			
現預金・コール	1,116	1,492	▲ 376	保険契約準備金	54,382	54,688	▲ 306
買入金銭債権	1,489	1,480	8	責任準備金	53,744	54,037	▲ 293
有価証券	38,084	38,321	▲ 236	危険準備金	774	772	1
公社債	24,054	23,794	259	社債	140	140	-
株式	3,606	4,034	▲ 427	その他負債	606	733	▲ 126
外国証券	10,387	10,455	▲ 67	借入金	360	360	-
その他の証券	36	36	▲ 0	価格変動準備金	270	240	30
貸付金	14,105	14,255	▲ 150	負債の部合計	55,875	56,270	▲ 395
有形固定資産	1,601	1,610	▲ 8	純資産の部			
無形固定資産	127	126	0	株主資本	1,939	1,953	▲ 13
その他資産	904	624	280	資本金	625	625	-
繰延税金資産	520	528	▲ 8	資本剰余金	625	625	-
貸倒引当金	▲ 17	▲ 17	0	利益剰余金	689	703	▲ 13
資産の部合計	57,932	58,423	▲ 490	評価・換算差額等	117	199	▲ 81
主な変動要因 ・公社債: 時価上昇および金利動向に応じた銘柄入れ替えにより増加 ・株式: 時価の下落等により減少				その他有価証券評価差額金	538	619	▲ 81
				土地再評価差額金	▲ 420	▲ 420	-
				純資産の部合計	2,057	2,152	▲ 95
				負債及び純資産の部合計	57,932	58,423	▲ 490

・貸借対照表(要約): 太陽生命単体

貸借対照表(要約): T&Dフィナンシャル生命単体

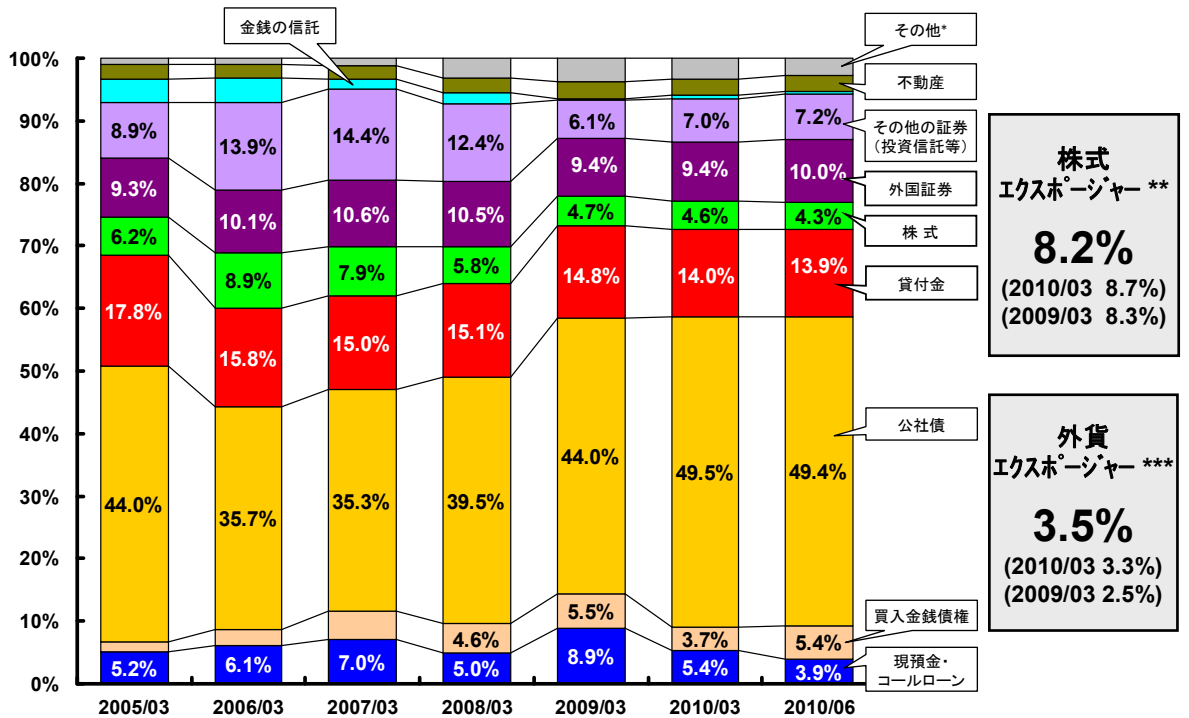


(億円)				(億円)			
	2010年 6月期	2010年 3月期	増減額		2010年 6月期	2010年 3月期	増減額
資産の部				負債の部			
現預金・コール	338	436	▲ 97	保険契約準備金	13,817	14,205	▲ 387
金銭の信託	669	463	205	責任準備金	13,767	14,155	▲ 388
有価証券	12,811	13,344	▲ 533	危険準備金	287	268	18
公社債	3,514	3,639	▲ 125	価格変動準備金	3	3	▲ 0
株式	7	8	▲ 0	負債の部合計	13,911	14,321	▲ 410
外国証券	14	16	▲ 2	純資産の部			
その他の証券	9,274	9,680	▲ 405	株主資本	357	379	▲ 21
貸付金	61	61	▲ 0	資本金	560	560	-
有形固定資産	2	2	▲ 0	資本剰余金	460	460	-
無形固定資産	14	14	▲ 0	利益剰余金	▲ 662	▲ 640	▲ 21
その他資産	79	69	9	評価・換算差額等	▲ 4	▲ 5	0
繰延税金資産	172	172	0	その他有価証券評価差額金	▲ 4	▲ 5	0
貸倒引当金	▲ 0	▲ 0	0	純資産の部合計	352	374	▲ 21
資産の部合計	14,264	14,695	▲ 431	負債及び純資産の部合計	14,264	14,695	▲ 431

変額年金の保有契約高の減少により
投資信託の時価が減少

・貸借対照表(要約):T&Dフィナンシャル生命単体

一般勘定資産構成比: 大同生命



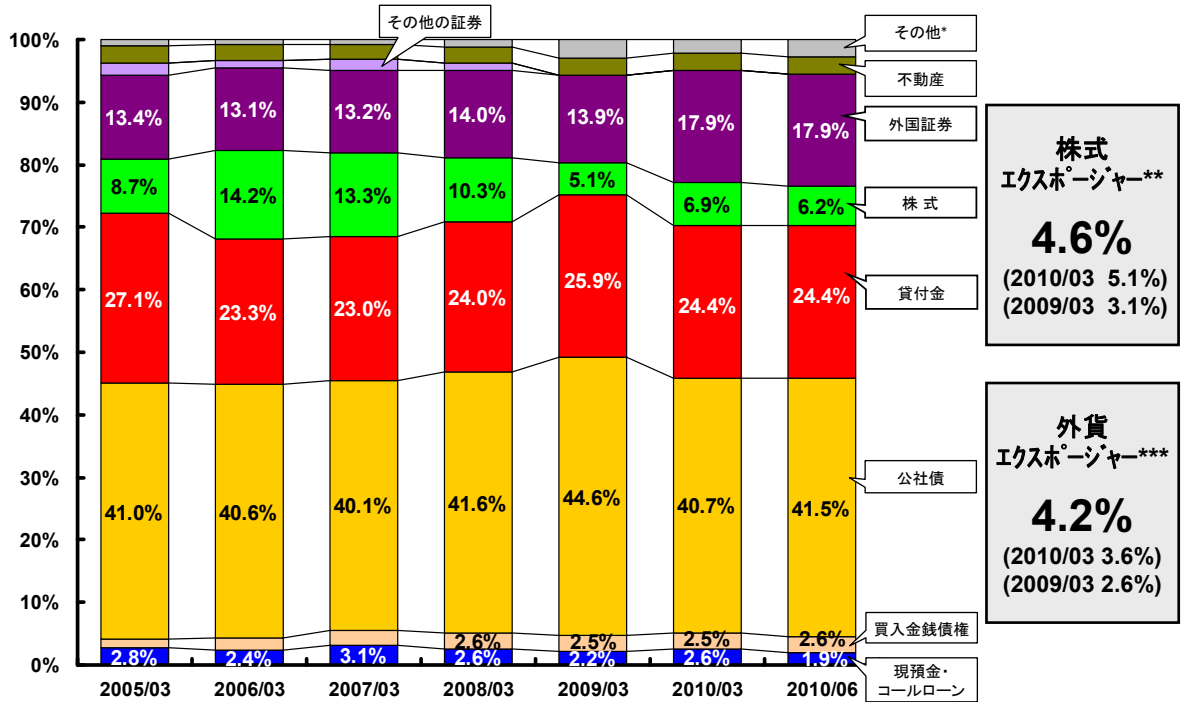
**株式
エクスポージャー ****
8.2%
(2010/03 8.7%)
(2009/03 8.3%)

**外貨
エクスポージャー *****
3.5%
(2010/03 3.3%)
(2009/03 2.5%)

* その他資産: 繰延税金資産、有形固定資産、無形固定資産など ** 株式先物、投信、金銭の信託内の株式等を含めた実質的な株式エクスポージャー
*** 為替ヘッジ等を含めた実質的な外貨エクスポージャー

・一般勘定資産構成比: 大同生命

一般勘定資産構成比: 太陽生命



**株式
エクスポージャー****
4.6%
(2010/03 5.1%)
(2009/03 3.1%)

**外貨
エクスポージャー*****
4.2%
(2010/03 3.6%)
(2009/03 2.6%)

* その他資産:繰延税金資産、有形固定資産、無形固定資産など ** ヘッジ、株式投信等を含めた実質的な株式エクスポージャー
*** 為替ヘッジ等を反映した実質的な外貨エクスポージャー

一般勘定資産構成比: 太陽生命

外国証券・その他の証券の内訳

(億円)

	大同生命			太陽生命		
	2010年 6月期	2010年 3月期	増減	2010年 6月期	2010年 3月期	増減
外国証券	5,305	5,095	210	10,373	10,437	▲ 64
外国公社債	1,848	1,746	101	8,112	8,119	▲ 6
外国株式等*	3,457	3,348	108	2,260	2,318	▲ 58
うちヘッジファンド	726	699	27	520	578	▲ 58
うちプライベートエクイティ	1,255	1,297	▲ 41	141	137	3
その他の証券	3,806	3,783	22	36	36	▲ 0
国内投資信託	3,496	3,466	30	-	-	-
うちREIT	28	32	▲ 4	-	-	-
その他	309	317	▲ 8	36	36	▲ 0
うちプライベートエクイティ	151	152	▲ 1	21	21	▲ 0

*外国株式等のうち、ヘッジファンド、プライベートエクイティを除いた内訳は、大同生命・太陽生命ともに主に邦銀の外国籍SPCが発行する優先出資証券です。

・外国証券・その他の証券の内訳

外国証券(公社債)の内訳

(億円)

	大同生命 (2010年6月期)		太陽生命 (2010年6月期)	
外国国債	672	36.4%	6,908	85.2%
うち BBB格以上	672	36.4%	6,908	85.2%
国際機関債	2	0.1%	401	5.0%
うち BBB格以上	2	0.1%	401	5.0%
政府関係機関債・公企業債	2	0.1%	562	6.9%
うち BBB格以上	2	0.1%	562	6.9%
外国地方債	-	-	129	1.6%
うち BBB格以上	-	-	129	1.6%
外国事業債	1,170	63.3%	109	1.4%
うち BBB格以上	1,166	63.1%	109	1.4%
合計	1,848	100.0%	8,112	100.0%

* 「BBB格以上」は各社の社内格付けに基づいて分類しています

株式会社T&Dホールディングス 2011年3月期第1四半期決算のご説明

・外国証券(公社債)の内訳

有価証券評価損の内訳

(億円)

	大同生命 (2010年6月期)	太陽生命 (2010年6月期)
公社債	-	-
株式	14	1
外国証券	-	-
外国公社債	-	-
外国株式等	-	-
うちプライベートエクイティ	-	-
その他の証券	4	-
国内投資信託	-	-
うちREIT	-	-
その他	4	-
うちプライベートエクイティ	-	-
買入金銭債権	-	-
合計	19	1

・有価証券評価損の内訳

一般勘定資産の差損益:大同生命

(億円)

	満期保有目的債券 の含み損益		その他有価証券 の評価差損益		合計		
	2010年 6月期	2010年 3月期	2010年 6月期	2010年 3月期	2010年 6月期	2010年 3月期	増減額
合計	71	7	646	1,003	718	1,011	▲ 292
公社債	71	7	640	371	712	379	332
株式	-	-	359	560	359	560	▲ 200
外国証券	-	-	▲ 53	▲ 23	▲ 53	▲ 23	▲ 30
公社債	-	-	▲ 13	30	▲ 13	30	▲ 44
株式等	-	-	▲ 39	▲ 53	▲ 39	▲ 53	13
その他の証券	-	-	▲ 347	90	▲ 347	90	▲ 437
買入金銭債権	-	-	49	1	49	1	48
金銭の信託	-	-	▲ 1	2	▲ 1	2	▲ 4
土地等					201	202	▲ 0

* 有価証券のうち、時価のあるものを対象としています

** 土地等の差損益は、原則として鑑定評価額、重要性の低い物件等については公示価格をもとに算出しています

・一般勘定資産の差損益:大同生命

一般勘定資産の差損益: 太陽生命

(億円)

	満期保有目的債券 の含み損益		責任準備金対応 債券の含み損益		その他有価証券 の評価差損益		合計		
	2010年 6月期	2010年 3月期	2010年 6月期	2010年 3月期	2010年 6月期	2010年 3月期	2010年 6月期	2010年 3月期	増減額
合計	199	36	792	235	887	974	1,880	1,247	633
公社債	155	22	792	235	286	135	1,235	394	841
株式	-	-	-	-	406	928	406	928	▲ 521
外国証券	-	-	-	-	186	▲ 91	186	▲ 91	277
公社債	-	-	-	-	244	▲ 40	244	▲ 40	285
株式等	-	-	-	-	▲ 58	▲ 50	▲ 58	▲ 50	▲ 7
その他の証券	-	-	-	-	2	3	2	3	▲ 0
買入金銭債権	43	13	-	-	5	▲ 0	49	12	36
金銭の信託	-	-	-	-	-	-	-	-	-

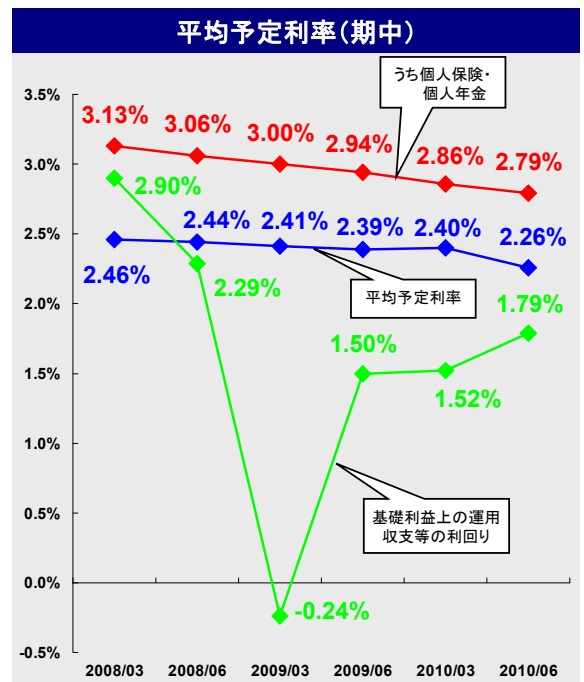
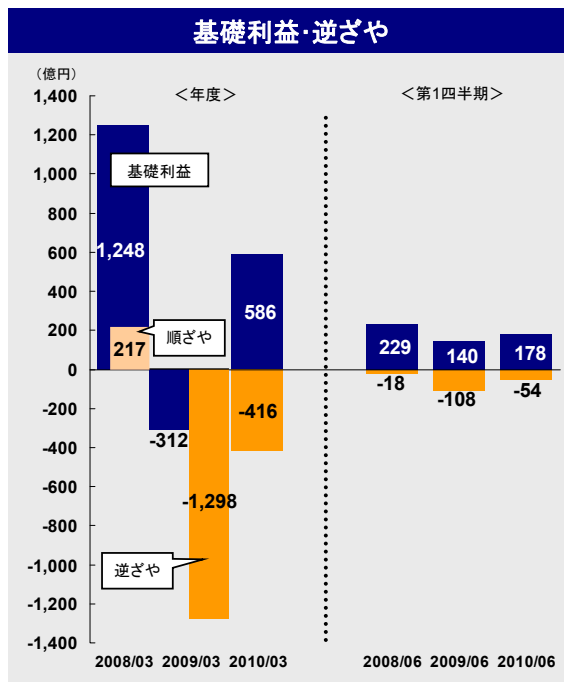
土地等							85	85	▲ 0
-----	--	--	--	--	--	--	----	----	-----

* 有価証券のうち、時価のあるものを対象としています

** 土地等の差損益は、原則として鑑定評価額(重要度の低い物件等については公示価格等)をもとに算出しています

・一般勘定資産の差損益: 太陽生命

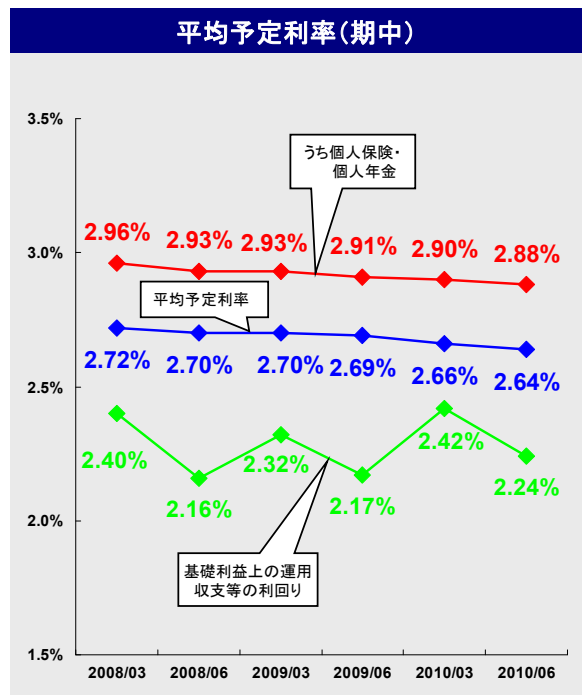
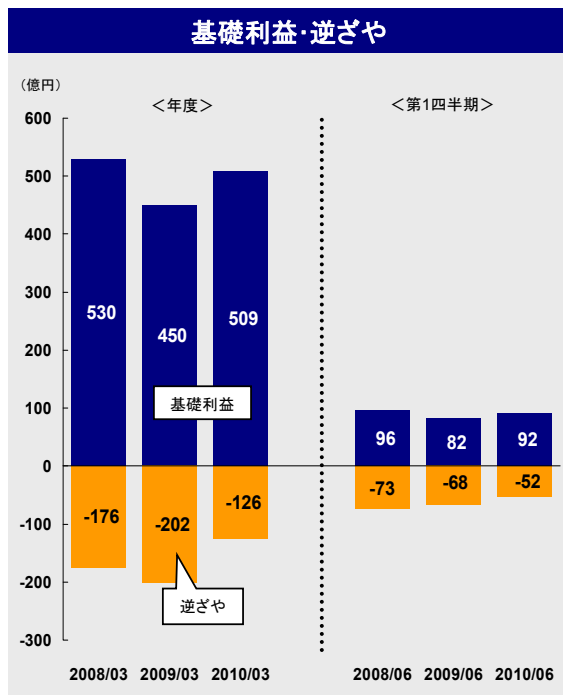
基礎利益・逆ざや・平均予定利率:大同生命



株式会社T&Dホールディングス 2011年3月期第1四半期決算のご説明

・基礎利益・逆ざや・平均予定利率:大同生命

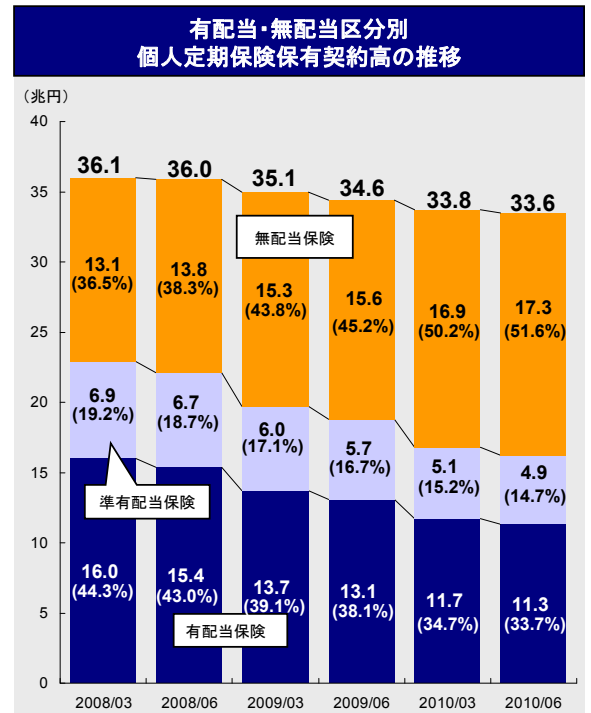
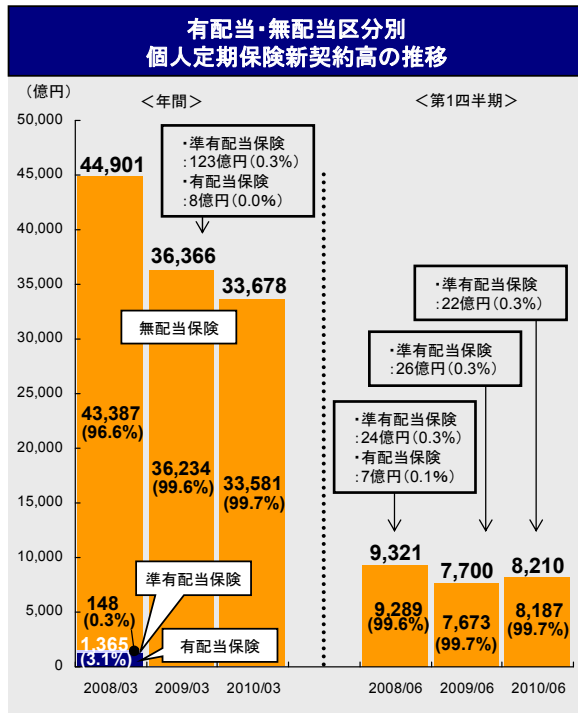
基礎利益・逆ざや・平均予定利率:太陽生命



株式会社T&Dホールディングス 2011年3月期第1四半期決算のご説明

・基礎利益・逆ざや・平均予定利率:太陽生命

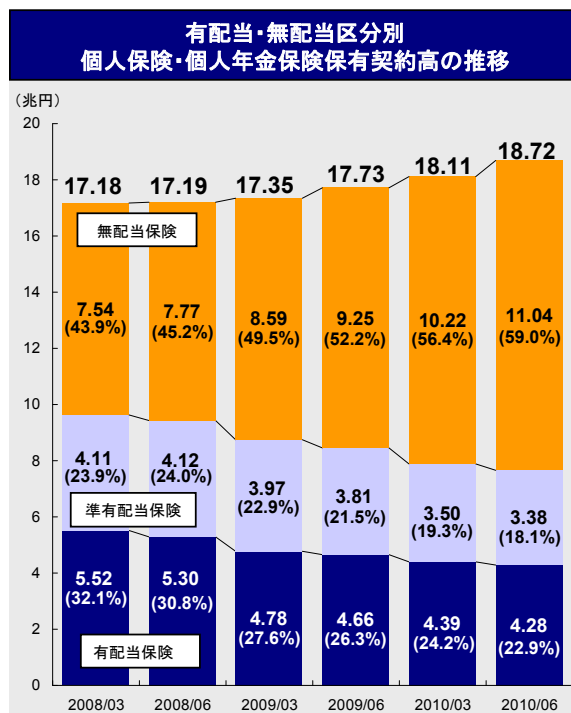
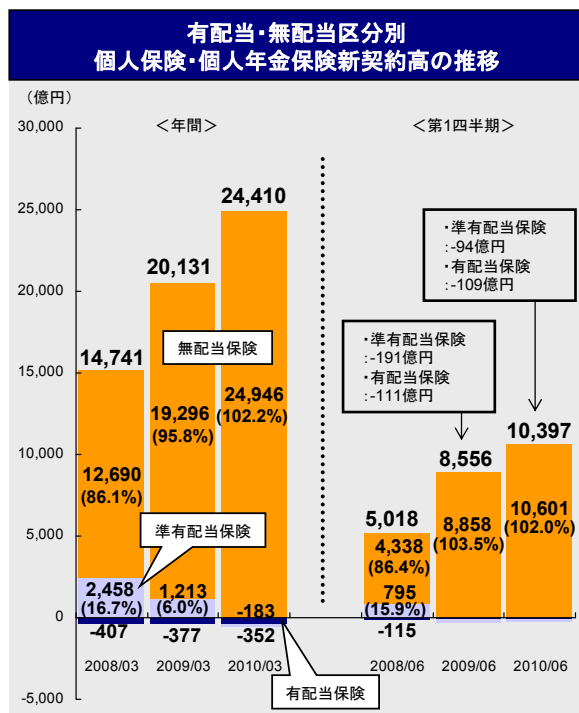
配当区分別構成比: 大同生命



株式会社T&Dホールディングス 2011年3月期第1四半期決算のご説明

・配当区分別構成比: 大同生命

配当区分別構成比: 太陽生命



* 上表は、主契約・特約単位別に区分をしたものです。新契約高には、転換による純増加を含みます。

・配当区分別構成比: 太陽生命

健全性指標明細:大同生命

(百万円)

項目	①EEV上の修正純資産	②実質純資産	③ソルベンシー・マージン	
純資産の部(除く評価・換算差額等)	287,207	287,207	287,207	
▲不動産圧縮積立金	-	-	▲ 1,559	
▲社外流出予定額	-	-	▲ 2,142	③株主配当金
その他有価証券評価差額金	24,320	38,878	34,990	①税引後(不動産ファンドを含む) ②税引前 ③税引前の90%(マイナスの場合100%)
貸付金の含み損益	8,002	-	-	①税引後
ヘッジ会計適用に伴う差損益	78	78	-	①②税引後
土地の含み損益	8,038	20,192	17,163	①税引後(建物の含み損益を含む) ②税引前 ③税引前の85%
価格変動準備金	46,300	46,300	46,300	
危険準備金	53,132	53,132	53,132	
配当準備金中の未割当額	7,012	7,012	7,012	
全期チルメル式責任準備金相当額超過額	-	116,759	116,759	
将来利益	-	-	5,991	
▲負債中内部留保に係る税効果	▲ 38,437	-	-	①(価格変動準備金+危険準備金+配当準備金中の未割当額)*税率(36.11%)
税効果相当額	-	-	69,186	
一般貸倒引当金	1,157	-	1,812	①税引後 ③税引前
負債性資本調達手段等	-	-	-	劣後ローン等取り入れ時には③にのみカウント
負債性資本の含み損益	-	-	-	
有価証券含み損益(満期保有等)	7,032	7,169	-	①税引後(子会社・関連会社株式の含み損益を含む) ②税引前
合計	403,845	576,729	635,853	

株式会社T&Dホールディングス 2011年3月期第1四半期決算のご説明

・健全性指標明細:大同生命

健全性指標明細:太陽生命

(百万円)

項目	①EEV上の修正純資産	②実質純資産	③ソルベンシー・マージン	
純資産の部(除く評価・換算差額)	193,940	193,940	193,940	
▲不動産圧縮積立金	-	-	-	
▲社外流出予定額	-	-	▲ 1,690	③株主配当金
その他有価証券評価差額金	53,812	83,219	74,897	①税引後 ②税引前 ③税引前の90%(マイナスの場合100%)
貸付金の含み損益	28,192	-	-	①税引後
ヘッジ会計適用に伴う差損益	1,693	33	-	①金利スワップの特例処理分を含む(税引後) ②税引後
土地の含み損益	▲ 17,704	▲ 33,535	▲ 23,107	①税引後(土地再評価に係る差損益、建物の差損益を含む) ②税引前(B/S上の土地再評価差額金を含む) ③税引前(土地再評価に係る差損益を含む)
価格変動準備金	27,067	27,067	27,067	
危険準備金	77,425	77,425	77,425	
配当準備金中の未割当額	10,927	10,927	10,927	
全期テメル式責任準備金相当額超過額	-	37,811	37,811	
将来利益	-	-	6,256	
▲負債中内部留保に係る税効果	▲ 41,666	-	-	①(価格変動準備金+危険準備金+配当準備金中の未割当額)× 税率(36.1%)
税効果相当額	-	-	37,992	
一般貸倒引当金	1,045	-	1,635	①税引後 ③税引前
負債性資本調達手段等	-	-	50,000	劣後ローン等取り入れ時には③にのみカウント
負債性資本の含み損益	▲ 513	-	-	①税引後
有価証券含み損益(責任準備金対応債券等)	65,044	99,272	-	①税引後(子会社・関係会社株式の含み損益を含む) ②税引前
合計	399,263	496,162	493,157	

株式会社T&Dホールディングス 2011年3月期第1四半期決算のご説明

・健全性指標明細:太陽生命

健全性指標明細:T&Dフィナンシャル生命



(百万円)

項目	①EEV上の修正純資産	②実質純資産	③ソルベンシー・マージン	
純資産の部(除く評価・換算差額等)	35,754	35,754	35,754	
▲不動産圧縮積立金	-	-	-	
▲社外流出予定額	-	-	-	③株主配当金
その他有価証券評価差額金	▲ 318	▲ 454	▲ 454	①税引後 ②税引前 ③税引前の90%(マイナスの場合100%)
貸付金の含み損益	557	-	-	- ①税引後
ヘッジ会計適用に伴う差損益	-	-	-	- ①税引後
土地の含み損益	-	-	-	- ①税引後 ②③税引前
価格変動準備金	383	383	383	
危険準備金	28,707	28,707	28,707	
配当準備金中の未割当額	-	-	-	
全期チルメル式責任準備金相当額超過額	-	20,954	32,372	変額年金に係る再保険賃を②は除く、③は含む
将来利益	-	-	-	
▲負債中内部留保に係る税効果	▲ 8,727	-	-	- ①(価格変動準備金+危険準備金+配当準備金中の未割当額)*法人税率分(30%)
税効果相当額	-	-	-	
一般貸倒引当金	2	-	3	①税引後 ③税引前
負債性資本調達手段等	-	-	-	- 劣後ローン等取り入れ時には③にのみカウント
負債性資本の含み損益	-	-	-	
有価証券含み損益(満期保有等)	6,585	9,407	-	- ①税引後②税引前
合計	62,945	94,754	96,767	

・健全性指標明細:T&Dフィナンシャル生命

主要業績の推移: 3社合算

■ 2001年3月期以前は大同生命・太陽生命の単体合算数値を、2002年3月期以降はT&D
フィナンシャル生命を含めた3社単純合算数値を記載しています。

(億円)

(各年3月期)	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010
保有契約高 *1	541,622	577,821	579,255	585,084	595,735	602,650	598,999	593,403	580,971	577,000
新契約高 *1 *2	63,332	69,329	73,165	75,680	75,449	72,938	66,347	62,018	59,910	63,299
保険料等収入	21,696	21,137	20,047	18,785	17,989	19,023	18,115	16,131	16,543	18,980
解約失効高 *1 *2	47,280	47,028	52,157	51,991	48,757	51,027	53,625	50,642	53,732	51,124
基礎利益	1,281	1,265	1,142	1,417	1,298	1,272	1,733	1,597	▲ 270	1,310
総資産	131,667	134,154	131,489	131,097	129,875	139,322	140,280	132,824	124,135	127,818

*1 個人保険、個人年金保険の合計 *2新契約高には転換純増加高を含む

・主要業績の推移: 3社合算

主要業績の推移: 大同生命

(億円)

(各年3月期)	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010
保有契約高 *1	389,897	389,291	393,426	392,948	396,942	400,080	397,320	398,971	386,218	372,913
うち個人定期保険	341,096	343,090	348,046	349,641	354,796	359,336	358,181	361,753	351,055	338,231
新契約高 *2	44,014	45,704	46,735	43,097	43,542	42,927	43,278	46,342	37,616	35,922
うち個人定期保険	40,486	42,929	42,985	40,873	41,260	40,807	41,419	44,898	36,270	33,524
保険料等収入	10,722	10,594	9,894	9,282	8,848	8,711	8,652	8,433	8,119	8,609
うち個人保険保険料 *1	6,867	6,620	6,849	6,410	6,642	6,678	6,738	6,694	6,534	7,358
解約失効高 *1	35,269	34,932	32,906	33,177	30,265	30,400	36,158	35,500	39,924	38,792
解約失効率 (%)	9.0%	9.0%	8.45%	8.44%	7.70%	7.66%	9.04%	8.93%	10.01%	10.04%
基礎利益	1,142	1,098	887	1,073	1,027	961	1,257	1,248	▲ 312	586
営業職員数(人)	4,866	5,154	5,194	5,251	4,888	4,909	4,726	4,307	4,156	3,976
募集代理店数(店)	13,203	13,252	12,970	13,079	13,415	13,963	14,295	14,460	14,321	13,943
総資産	59,003	59,827	60,071	60,179	59,837	64,061	63,970	60,478	54,711	54,700

*1 個人保険、個人年金保険の合計 *2 新契約高には転換純増加高を含む

・主要業績の推移: 大同生命

主要業績の推移: 太陽生命

(億円)

(各年3月期)	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010
保有契約高 *1	151,725	152,329	152,686	160,778	169,662	175,915	176,445	171,822	173,552	181,190
うち個人保険	99,588	102,173	105,002	115,779	127,065	135,720	138,203	134,683	137,617	146,519
新契約高 *1,2	19,317	21,881	21,754	28,142	28,910	28,383	21,273	14,741	20,131	24,410
うち個人保険	14,581	20,479	20,910	27,972	29,024	28,615	21,070	13,721	19,066	23,481
保険料等収入	10,973	10,190	8,879	7,941	7,881	8,230	7,055	6,357	5,966	7,136
うち個人保険・個人年金保険	9,148	8,378	7,621	6,802	6,466	6,092	5,765	5,320	5,086	5,307
解約失効高 *1	12,011	12,096	13,188	13,626	14,240	16,440	15,038	13,486	12,455	11,188
解約失効率 *1	7.91%	7.97%	8.66%	8.92%	8.86%	9.69%	8.55%	7.64%	7.25%	6.45%
基礎利益	139	138	287	375	338	381	539	530	450	509
営業職員数(人)	9,276	8,948	8,808	8,703	9,111	8,963	8,116	7,619	8,226	9,014
総資産	72,663	68,340	65,280	64,095	62,765	65,919	65,525	61,855	57,711	58,423

*1 個人保険+個人年金保険 *2 新契約高には、転換による純増加を含む

・主要業績の推移: 太陽生命

主要業績の推移: T&Dフィナンシャル生命



(億円)

(各年3月期)	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010
保有契約高 ^{*1}	36,201	33,142	31,357	29,130	26,654	25,233	22,610	21,200	22,895
うち変額個人年金	13	641	1,751	2,457	4,595	6,215	5,968	6,749	10,135
新契約高 ^{*1}	1,743	4,675	4,440	2,997	1,627	1,795	933	2,162	2,966
うち変額個人年金	12	651	904	608	1,286	1,795	933	2,162	2,953
保険料等収入	352	1,274	1,561	1,260	2,081	2,407	1,340	2,457	3,234
うち変額個人年金	12	663	1,008	772	1,642	2,024	1,037	2,182	2,957
解約失効高 ^{*1}	7,229	6,062	5,187	4,251	4,186	2,427	1,655	1,353	1,144
解約失効率(%)	17.05%	16.75%	15.65%	13.56%	14.37%	9.11%	6.56%	5.98%	5.40%
基礎利益	27	▲ 32	▲ 31	▲ 67	▲ 70	▲ 64	▲ 181	▲ 408	214
総資産	5,986	6,136	6,822	7,272	9,341	10,784	10,489	11,711	14,695

^{*1}個人保険、個人年金保険の合計

^{*2} T&Dフィナンシャル生命は、更生特例法に基づき2001年4月1日から2001年9月30日までを事業年度としているため、2002年3月期は、組織変更後の2001年10月1日から2002年3月31日までを事業年度として決算手続きを行っています。

・主要業績の推移: T&Dフィナンシャル生命

本資料への問い合わせ先

T&Dホールディングス
経営企画部 IRグループ
電話: 03 (3434) 9142

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化などにより、計画や予想と異なる可能性があることにご留意ください。

・お問い合わせ先